

「欧米の進出と日本の開国」

本単元で育成する資質・能力

「主体性」「課題解決力(探究力)」「ふりかえり力(メタ認知力)」

1 日 時 令和2年2月10日(月)5校時(14:00~14:50)

2 学 年 第2学年A組(男子17名,女子9名,計26名)

3 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会[歴史的分野]の内容項目(5)近代の日本と世界「ア 欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。」に基づき設定している。また、本単元は次の2つの内容から構成されている。1つ目は、欧米諸国における17~19世紀の近代革命・産業革命を経た発展とアジア侵略の様子である。2つ目は、開国と不平等条約、その影響で幕藩体制が動揺し、江戸幕府の滅亡によって近世封建社会が崩壊していく過程である。欧米諸国によるアジア侵略は、日本にも伝わってきており、日本にもアメリカをはじめとして多くの欧米諸国が接近してきていた。ペリー来航によって幕府がそれまでの鎖国政策をやめ、開国したことによって、外国の制度や文化が日本に取り入れられ、貿易が盛んに行われるようになった。また、日本にとって不利な条約を武力を背景に結ばされることにもなった。そのことによって、幕府の権威が失墜し、物価が高騰して政治や経済の混乱を招いた。その後、幕府は倒れ、幕府が日本全体の政権をとり、二百数十の藩が地域ごとに政治を行う幕藩体制から、天皇を中心とした中央集権体制へと変化していった。

本単元の学習を通して、歴史にみられる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせる。また、様々な資料を活用して、歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

本単元は、欧米諸国と日本の様子を関連づけることで、国際的な視点から日本の社会が近世から近代へと転換した背景を考察させ、歴史の大きな流れを理解させることができる単元である。

4 生徒観

令和元年12月に実施した授業評価アンケート結果は以下のとおりである。

番	内容	よく(%) (肯定的)
2	授業は、よく分かります。	84.0
4	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。	40.0
5	授業では、課題を解決するために、どのような方法だと解決することができるかを考えています。	16.0
6	授業では、課題を解決するために情報を集め、それを比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して考えています。	28.0

7	授業では、友だちの考えに対して、意見したり質問したりすることで、自分の考えを積極的に伝えています。	12.0
8	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表をしています。	24.0
10	学習のふり返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	28.0

アンケートの結果から、授業に対しては意欲的に参加することができているといえる。しかし、課題を解決するための方法や根拠を明確にして自分の考えまとめたり、考えたことを相手に伝えたりすることに大きな課題が見られる。振り返りに関しては、授業時には理解できているが、それを自分の生活に活用できるまでには至っておらず、主体的に学習することまではできていないという課題がある。

5 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

(1) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導の工夫

- ・身近なことと関連づけて興味や関心を高め、生徒の学習の主体性を高める。
- ・課題設定において、生徒に疑問や違和感、必要性等を持たせる工夫をし、自ら解決するための課題意識へつなげる。
- ・教科書や資料集にある資料から、必要な情報を収集し、主体的に課題解決を図ろうと探究する態度を養う。
- ・生徒自身が調べたことについて、自分の考えを説明し、それに対して意見をもらうなどして、深い思考に到達するための議論をする活動を積極的に取り入れる。
- ・グループ学習は、ただ考えを発表するだけでなく、疑問に思ったことを聞き合う議論をさせる。

(2) 振り返り場面の指導の工夫

- ・欧米諸国によるアジア進出が原因で開国したということだけでなく、その後の日本国内において、政治的、経済的にも大きな影響を及ぼした結果、江戸幕府滅亡という結果につながったことを大観させる。
- ・振り返りをするときには、「どこまで分かったか」で終わるのではなく、「もっと考えてみたいことや調べてみたいこと」など日常生活とのつながりについても記述するよう指導する。

(3) 生徒の実態に合わせた指導の工夫

- ・単元の最初の授業で単元全体の流れについて説明し、パフォーマンス課題のゴールを提示することにより、学習の見通しをもたせる。
- ・自分の考えを根拠を持って説明することが苦手な生徒が多いので、ヒントカードで使う言葉を示したり、生徒によっては説明の型を示したりし、空欄にあてはまる言葉を考えれば説明できるように支援する。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

○ 本単元で身につけさせたい資質・能力と評価基準

資質・能力	評価基準		
	I	C	E
主体性	【課題発見と解決方策】 課題を解決するために資料などの情報を収集しようとしている。	【考える・議論する】 資料を根拠に考えたことを伝えあい、議論を通して、自分と異なる意見と向き合おうとしている。	【新たな活動】 学習した内容をもとに、次の時代の学習に関連付けて考えようとしている。

課題解決力 (探究力)	【情報選択・収集】 欧米諸国のアジア進出について、近代革命や産業革命が大きく関連していることを資料から読み取ることができる。	【多面的・多角的】 課題解決に向けて、資料から読み取ったことを比較・関連付けながら、社会的事象の意義・意味を解釈し、自分の言葉で表現することができる。	【新たな課題・発見・創造】 学習した内容と関連付けて、歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題解決や探究に取り組むことができる。
ふりかえり力 (メタ認知力)	【知識の理解】 諸資料から歴史に関する様々な情報と新しく学習した内容が理解できているかが分かっている。	【他とのつながりを理解】 学習した内容が、政治・経済・文化など様々な視点で、既習事項や身近なこと、日常生活等とつながることが分かっている。	【活用できているか理解】 学習した内容を、応用して日常生活・社会生活・自己の変容等につなげることができているかが分かっている。

〈単元の目標〉

- (1) 欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きを通して理解することができる。
- (2) 開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連づけて理解することができる。
- (3) 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、多面的・多角的に考察することができる。

〈評価規準〉

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な見方や考え方	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に対する関心を高め、意欲的に追究している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に関する絵画、グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめている。	欧米諸国のアジアへの進出を背景に、我が国の開国とその影響を理解し、知識を身に付けている。

7 単元計画 (10 時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	観点				評価		
			関	読	話	知	◇評価規準	★資質・能力(評価方法)	
1	課題の設定	本時の目標	これから学習する時代はどのような時代か予想できる。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習を振り返り、時代の特色を予想する。 ・今後の授業で学んだことを基に説明するために、情報を収集し整理することが必要であることを知り、学習の見通しを持つ。 ・パフォーマンス課題の内容を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを勉強したかなあ。 ・どのような情報が必要なんだろう。 ・歴史を評価するってどうやるんだろう。 					○	◇★これから学習する時代について、時代の特色を意欲的に追究しようとしている。 (行動観察) 【主体性】	

<p>(単元を貫く課題) 欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p>					
2	情報収集	本時の目標	イギリスやフランスの政治がどう変化したか説明できる。		
3	<ul style="list-style-type: none"> イギリスの革命により欧米諸国がどのように変化したのか考える。 フランス革命による社会の変化について，資料からその当時の状況を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 革命によって何が変わるんだろう。 ナポレオンの登場によって，王政を行っている国は変わったのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇ヨーロッパ諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を資料を読み取り，説明することができる。 ○ ★資料を根拠に考えたことを伝えあい，議論を通して，自分と異なる意見と向き合おうとしている。(行動観察・ノート) 【主体性】
4	情報収集	本時の目標	アメリカの政治がどのように変化したか，出来事とともに説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> アメリカはイギリスから独立してどのような国をつくったのか考える。 ロシアが南下政策を採用した理由をまとめる。 なぜ南下政策をする必要があるのか世界地図を見て考える。 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカは独立して何が変わったんだろう。 ロシアは南下する必要があるんだろうか。 西はイギリスやドイツがいるから進出することは難しいけど，南のアジアは強国ではないから植民地にしようとしたのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇アメリカ合衆国が独立・発展していく過程を理解し，説明することができる。 ○ ◇ロシアが南下政策を実行した理由について，世界地図や資料から読み取ることができる。 ★課題を解決するために資料などの情報を収集しようとしている。(行動観察・ノート) 【主体性】
5	整理・分析	本時の目標	産業革命がヨーロッパの国々にどのような影響を与えたか説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命により，欧米諸国の産業や社会が大きく変化したことを比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命によって，これまでと何が大きく変わったんだろう。 蒸気機関の発明でどのような変化があるんだろう。 社会主義という考え方は貧富の差が原因なのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇産業革命を経て，産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し，適切に表現することができる。 ○ ★欧米諸国のアジア進出について，近代革命や産業革命が大きく関連していることを資料から読み取ることができる。(ノート) 【課題解決力】
6	まとめ	本時の目標	なぜヨーロッパの国々は，アジアを侵略したのか説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ諸国がアジアに進出した理由を前時までの学習を踏まえて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい国が大きい国を植民地にできるんだろうか。 なぜアジアが狙われたんだろう。 イギリスをはじめとしたヨーロッパ諸国は，産業革命を成功させたことで軍事的な強国となり，ヨーロッパより弱いアジアを狙ったのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇ヨーロッパ諸国のアジア侵略について，その理由や背景を考察し，説明することができる。 ○ ★既習事項から結び付けて，ヨーロッパとアジアの関係性についてまとめることができている。(行動観察・ワークシート) 【振り返り力】

7	情報収集	本時の目標	日本は開国によって、アメリカとどのような関係になったか説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 日本が開国した経緯と条約の内容を読み取り、日本にとって、何が不平等であるのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本では開国についてどのような意見があったのか。 条約の内容は不平等なのに、なぜ結ぶのだろうか。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇条約の内容や不平等な点について、資料から読み取り、適切にまとめることができる。 ★資料を根拠に考えたことを伝えあい、議論を通して、自分と異なる意見と向き合おうとしている。(行動観察・ノート)【主体性】
8	整理・分析	本時の目標	開国により日本国内の社会がどのように変化したか資料から読み取り説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 開国による日本国内の政治、経済の変化について、資料から読み取り考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 尊王攘夷運動により、幕府の力が落ちた。 物価の上昇は、人々の生活にどのような影響を与えたのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇尊王攘夷運動の高まりや開国の経済的影響について、グループで協力して資料を収集し、読み取ったことをまとめ、説明することができる。 ★課題解決に向けて、資料から読み取ったことを比較・関連付けながら、社会的事象の意義・意味を解釈し、自分の言葉で表現することができる。(ワークシート)【課題解決力】
9	まとめ	本時の目標	江戸幕府がどのようにして滅亡したのか説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の滅亡が開国の影響を受けていることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ倒幕勢力が出てきたのかな。 江戸幕府の崩壊に外国は関係しているのかな。 大政奉還したあとにどうして戊辰戦争が起きたのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・社会面から考察し、公正に判断している。 ★学習した内容が、政治・経済・文化など様々な視点で、既習事項や身近なこと、日常生活等とつながることが分かっている。(行動観察・ワークシート)【振り返り力】
10	応用	本時の目標	開国という判断は正しかったのか、根拠を明確にして説明できる。		
	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題を解決する。 自分の考えを複数の資料に関連付けて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕府が開国したのは産業革命が関係しているのかな。 アヘン戦争で清国が負けたのは関係あるのかな。 開国によって、日本国内の経済の変化は日本にとっては良くないから、開国しない方が良かったんじゃないのかな。 			<ul style="list-style-type: none"> ◇開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ★学習した内容と関連付けて、歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題解決や探究に取り組むことができる。(ワークシート・発表)【課題解決力】

8 パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性，課題解決力（探究力），ふりかえり力
教科の評価基準	開国が正しかったかどうか，適切な資料をもとに，多面的・多角的に考察し，適切に表現している。

パフォーマンス課題の設問

あなたは、江戸時代の瓦版の記者です。日本はアメリカから開国を迫られました。結果として、日本は開国したわけですが、その判断は正しかったのかどうか、欧米列強をはじめとした諸外国の様子や開国後の日本の変化を踏まえて、読者に分かりやすいように、資料を根拠に説明しなさい。

9 パフォーマンスの評価基準

〈予備的ルーブリック〉

尺度 (評点, レベル)	記述語 (パフォーマンスの特徴)
3 理想的	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化および開国後の日本の変化を踏まえた根拠とともに、複数の適切な資料を関連付けて説明している。
2 合格	開国すべきかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化または開国後の日本の変化を踏まえた根拠とともに、適切な資料を示しながら説明している。
1 乗り越えさせたい実態	学習した内容を使って、開国について表現している。

10 本時の展開

(1) 本時の目標

欧米諸国の発展とアジア侵略および日本の開国についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、開国が正しかったかどうかについて、適切な資料をもとに多面的・多角的に考察することができる。

(2) 準備物

資料カード, ワークシート, ヒントカード

(3) 本時の展開

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆配慮の必要な生徒への支援	評価規準 (評価方法)	資質・能力 (評価方法)
1 本時の流れ確認をする。(5分)			
○既習事項の確認 ・江戸幕府の力はどうだったのかな。 ・なぜ江戸幕府は滅んでしまったのかな。	◆江戸幕府には経済力や軍事力など諸大名が逆らえなかったことを思い出す。 ◆欧米諸国の発展がアジアに影響を与えたことを思い出させる。 ◆開国による日本国内の変化を思い出させる。		

○学習内容と目標の確認 【本時の目標】			
開国という判断は正しかったのか、根拠を明確にして説明できる。			
○本時の流れの確認	◆活動の手順を示すことで、学習の見通しを持つ。		

2 資料を整理・分析し、パフォーマンス課題を解決する。(40分)

<p>○開国が正しかったとする理由と正しくなかったとする理由を考える。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">集団思考</p>	<p>◇使う資料を複数用意しておく、正しい方と正しくない方に分類させる。</p> <p>(資料) アヘン戦争 高杉晋作が見た清 日米和親条約 日米修好通商条約 貿易額の推移 貨幣の改鋳など</p> <p>◆机間指導の際、助言を行う。</p>	<p>【予想される反応】</p> <p>正しかったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アヘン戦争に敗北した清のように領土をとられてしまうから。 <p>正しくなかったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。 ・不平等条約を結ばされたから
<p>○グループでの意見を参考にして、自分の考えをまとめる。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p>	<p>◇個人で考えた理由をグループ内で共有し、議論する。</p> <p>◇自分の考えとの共通点や相違点をメモを取らせ、意見や質問をさせる。</p> <p>◆グループ内の仲間の発言でわからないことを質問させる。</p>	<p>開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>(ワークシート)</p>
	<p>◇グループ内で議論し、自分の考えを深めさせる。</p> <p>◇根拠となる資料を明確にさせる。</p> <p>◇複数の資料を関連付けさせる。</p> <p>◆机間指導の際、助言を行う。</p>	<p>資料を読み取り、考察に結び付け、考えを深めている。(ワークシート・発表)【課題解決力】</p>

<p>○グループ内での発表に対し、質問や意見を投げかけることによって、議論に発展させる。</p>	<p>◆文章の書き出しの例を提示する。(ヒントカード)</p> <p>◇深い学びとなるように、互いに納得できるまで質問や意見をさせるように指導する。</p> <p>◆発表の内容でわからないことや納得できないことを質問させる。</p>	<p>【予想される反応】</p> <p>正しかったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南京条約や高杉晋作についての資料から、アヘン戦争に敗北した清国のように不平等条約を結ばされただけでなく、領土をとられてしまったから。 <p>正しくなかったとする理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不平等条約や開国の影響を示す資料から、日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。
<p>3 本時の振り返りをする。(5分)</p>		
<p>○振り返りを書く。</p> <p>○次時の内容の予告をする。</p>	<p>◇本単元の学習を終えて、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」について記述させる。</p>	